

2023
第2号

赤十字なら通信 6～8月

6月▶ ❖ 監査委員監査・評議員会の実施 ❖

6月2日（金）奈良県支部会議室において、監査委員監査を実施し、令和4年度支部事業報告及び一般会計決算報告並びに、血液センター事業報告について、支部監査委員より監査を受けました。

また、6月13日（火）奈良県支部会議室において、支部評議員会を開催し、支部役員（副支部長）の選出、令和4年度支部事業報告及び一般会計決算報告並びに血液センター事業報告についてご審議いただき、原案のとおり承認されました。

（評議員定数45名中、出席評議員20名、委任状20名）



6月▶ ❖ 水上安全法救助員Ⅰ講習会を開催 ❖

6月4日（日）・10日（土）・11日（日）・15日（木）奈良県支部会議室及びスイムピア奈良を会場として、水上安全法救助員Ⅰ養成講習会を開催し、15名の方が参加されました。

水の事故を未然に防ぐ判断力を養い、緊急時に必要な知識と技術を身につけることで水難事故防止につなげることを目的とした講習会となっており、「泳ぎ方の基本と自己保全」「溺者の救助」「応急手当」などについて学びました。



6月▶ ❖ 第4ブロック（近畿）合同災害救護訓練の実施❖

6月17日（土）兵庫県支部が主管となり、災害救護訓練を実施しました。梅雨前線に伴う長雨と台風で被害が出たという想定で、本部連携訓練、避難所救護所訓練、ボランティア連携訓練などを行いました。

代表支部を通じて要請のあった救護班・日赤災害医療コーディネートチームは兵庫県支部災害救護実施対策本部が設置された三木市に参集し、災害対策本部の指示のもと兵庫県内の3地域（神戸・姫路・多可）に移動し、避難所での診療や衛生環境を含めたアセスメントを行いました。

奈良県支部の委託先である市立奈良病院が救護班として参加しました。救護班の活動状況をEMISへ入力・更新し、避難所での診療活動を行いました。その後拠点本部にいる奈良県と和歌山県の日赤災害コーディネートチームと避難所のアセスメントを基に明日以降の支援内容などを話し合いました。その内容は、WEBを活用した情報共有会議で兵庫県支部災害救護実施対策本部へ報告しました。

また、防災ボランティアもアマチュア無線基地局を設置し、通信連携訓練や救援物資の搬送、簡易トイレの設営訓練を行いました。



7月▶ ❖ 地域奉仕団研修会を開催 ❖

7月21日（金）奈良県人権センターにおいて、地域奉仕団研修会を開催しました。今年度リニューアルを行った「防災講習」の一部を体験していただくことを目的に、午前中は自宅の危険な箇所を考える「家具安全対策ゲーム（KAG）」を、午後からはケガなどの手当や避難所での一工夫を学ぶ「身近な救急法」の研修を行いました。

県内の地域奉仕団から計150名の参加がありました。



8月▶ ❖ 青少年赤十字トレーニングセンターを開催 ❖

8月3日（木）4日（金）奈良県野外活動センターにおいて、青少年赤十字トレーニングセンターを開催しました。青少年赤十字トレーニングセンターは、宿泊を伴うプログラムの中で、赤十字についての学習、防災学習、非常炊出し実習、フィールドワークなどを通じ、集団生活の中で生活態度全般にわたる学びを深めながら、一人一人がリーダーシップを発揮できるよう成長することを目的として開催しています。今年度は30の小学校から52名の児童が参加しました。



8月▶ ❖ 幼児安全法指導員養成講習を開催 ❖

8月16日（水）～20日（日）までの5日間、奈良県支部会議室において、幼児安全法指導員養成講習を開催し、4名の方が新たに幼児安全法の指導員になりました。幼児安全法や救急法などの赤十字の講習事業はボランティアの皆様を支えられており、継続的に赤十字の活動にご協力いただける指導員の養成を今後も行っていきます。



8月▶ ❖ 奈良県安全法指導赤十字奉仕団役員会を開催 ❖

8月20日（日）奈良県支部会議室において、奈良県安全法指導赤十字奉仕団役員会を開催しました。昨年度までは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、制限を受けた中での講習会や研修会等を開催してきました。5月に感染症法上の位置づけが5類感染症に変更され、本格的に講習会の再開となったことにより、奉仕団主催による9月の講習会の役割分担や研修会の内容の再調整について協議しました。講習会においては、若い指導員の模範となるよう、ベテラン指導者を中心に講習を指導していくよう役割分担を決めました。その他、年末に計画している救急法一般（基礎・養成）普及講習会の場所と日時を協議しました。

また、研修会については、支部が自治会などに対し防災関係の講習会を普及する一助として、防災啓発プログラムの「基礎コース」を指導展開するための解説を含めたデモ講習を実施し、防災講習の指導も出来る団員を養成することを目的として研修会を開催することとしました。

